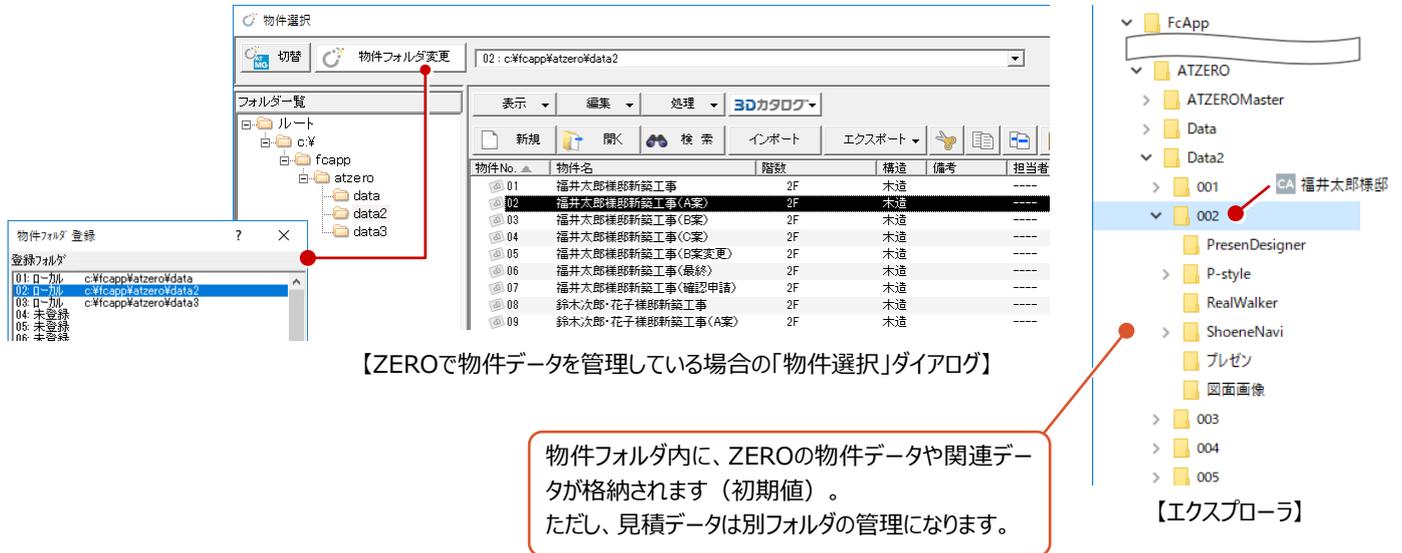


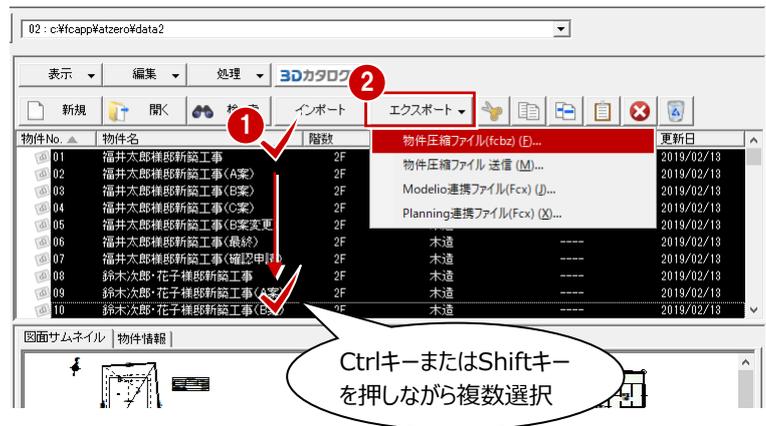
3-1 物件データをバックアップする

ARCHITREND ZEROで物件データを管理している場合のデータバックアップについて解説します。

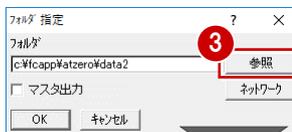


① 「物件選択」ダイアログでバックアップしたい物件を選択します。
CtrlキーまたはShiftキーを押しながらクリックすると複数選択できます。

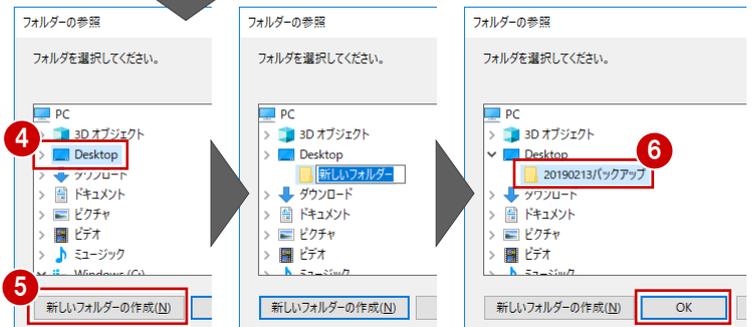
② 「エクスポート」メニューから「物件圧縮ファイル (fcbz)」を選びます。



③ 「参照」をクリックして、バックアップファイルを保存する場所を指定します。
ここでは、わかりやすいように「デスクトップ」に新しいフォルダを作成してみましょう。



④⑤ 「フォルダの参照」ダイアログで「デスクトップ (Desktop)」を選び、「新しいフォルダの作成」をクリックします。



⑥ 「Desktop」の下層に新規フォルダが作成されるので、フォルダ名をわかりやすい名称に変更して、「OK」をクリックします。

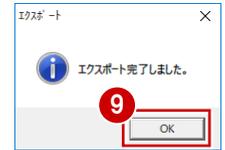
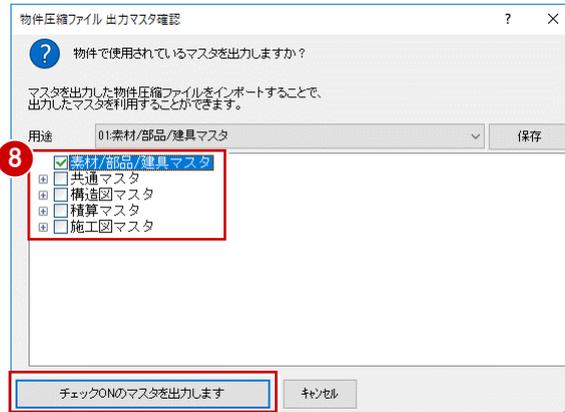
⑦ 「マスタ出力」をONにして、「OK」をクリックします。



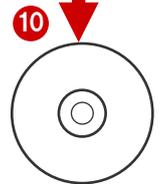
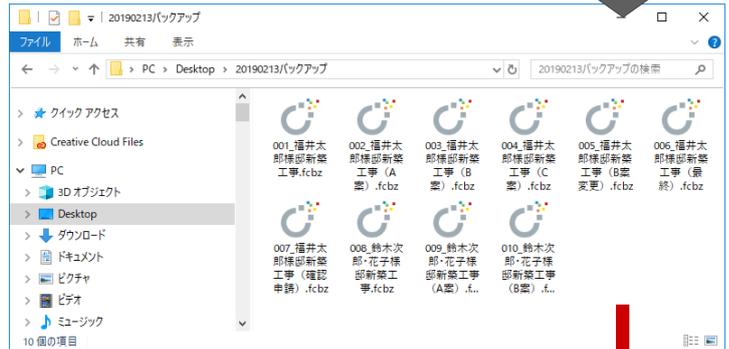
8 物件で使用されているマスタのうち、出力するマスタにチェックを付けて、「チェック ON のマスタを出力します」をクリックします。
処理が始まります。

9 完了の確認画面で「OK」をクリックします。
指定したフォルダに、物件名と同じ名称のバックアップファイル（.fcbz）が作成されます。

※ 8・9 のダイアログは、選択した物件データの数だけ表示されます。



10 作成されたバックアップファイル（.fcbz）を、別の媒体（HDD、CD、DVD など）に保存します。



マスタデータの出力について

マスタデータも出力するとファイルサイズは大きくなりますが、マスタも同時に出力することをお勧めします。ファイルを受け取る側に同じマスタが存在しない場合、受け取り側で属性変更やパースモニタの再作成を行うとエラーが表示されてしまうためです。
なお、マスタ込みのファイルをインポートする際は、取り込むマスタを選択できます。

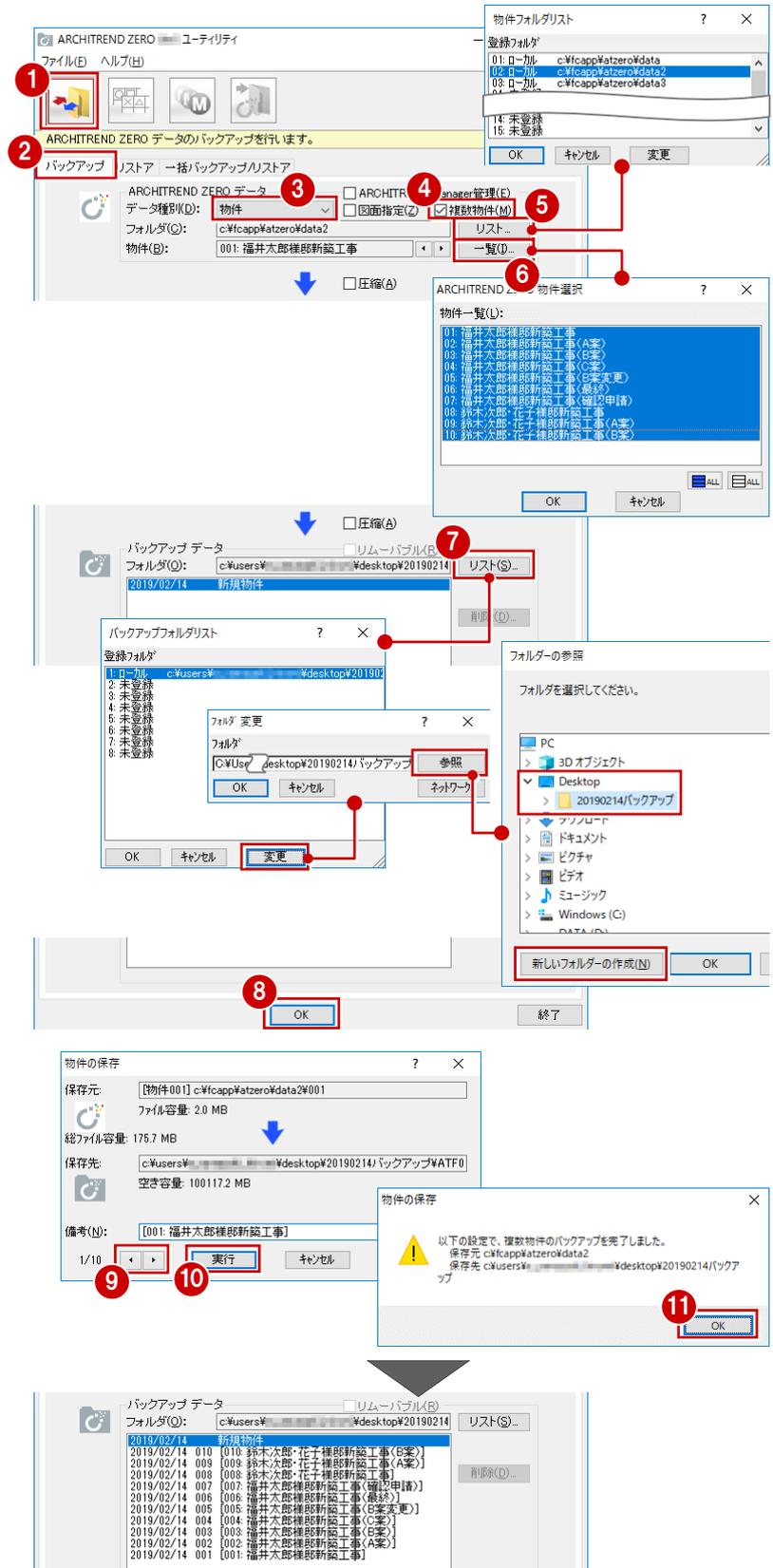
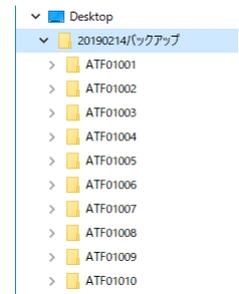
補足 ユーティリティで物件データをバックアップするには

物件データのバックアップは、ZEROのユーティリティでも行うことができます。

ユーティリティを使用した場合、指定した保存先に作成される「¥ATF01??」というフォルダに物件データが保存されます。エクスプローラ等でこのフォルダ名を変更すると、リストアできなくなりますのでご注意ください。

保存先のフォルダを、別の媒体（HDD、CD、DVDなど）に保存してください。

- 1 2 ZEROのユーティリティを起動し、「バックアップ/リストア」の「バックアップ」タブが開いていることを確認します。
- 3 「データ種別」が「物件」になっていることを確認します。
- 4 「複数物件」にチェックを付けます。
- 5 「リスト」をクリックして、物件データフォルダを選びます。
- 6 「一覧」をクリックして、バックアップする物件を選択します（複数選択可能）。
- 7 「バックアップデータ」の「リスト」をクリックして、バックアップ先のフォルダを指定します。
ここでは、「デスクトップ(Desktop)」に新しいフォルダを作成し、フォルダ名をわかりやすい名称に変更しています。⇒ 詳しい手順は P.9 参照
- 8 ユーティリティの画面下部にある「OK」をクリックします。
- 9 「◀」「▶」をクリックして、物件を確認します。
- 10 「実行」をクリックすると、処理が始まります。
- 11 完了の確認画面で「OK」をクリックします。



3-2 マスタをバックアップする

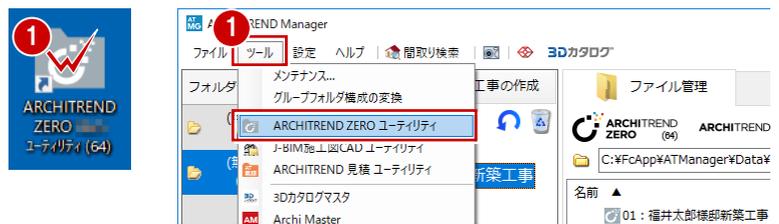
ZEROの物件マスタ、部屋マスタなどの各種マスタをバックアップします。

ここでは、すべてのマスタをバックアップする操作を解説します。



- 1 デスクトップのアイコンをダブルクリック、または、Manager の「ツール」メニューから、ZERO のユーティリティを起動します。

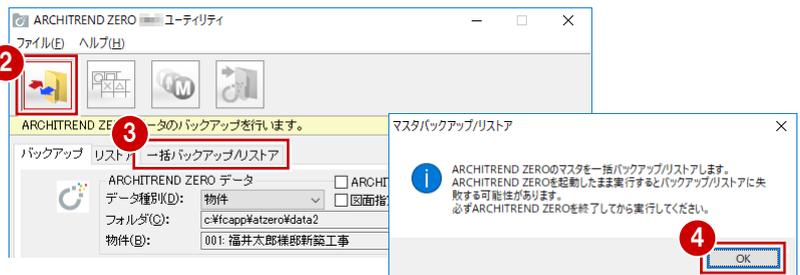
※ スタートボタンから「FukuiComputerApplication」の「ARCHITREND ZERO ユーティリティ」を選んで起動することもできます。



ユーティリティは、ZEROと同時に起動できません。
ZEROを終了してからユーティリティを起動してください。

- 2, 3 「バックアップ/リストア」の「一括バックアップ/リストア」タブをクリックします。

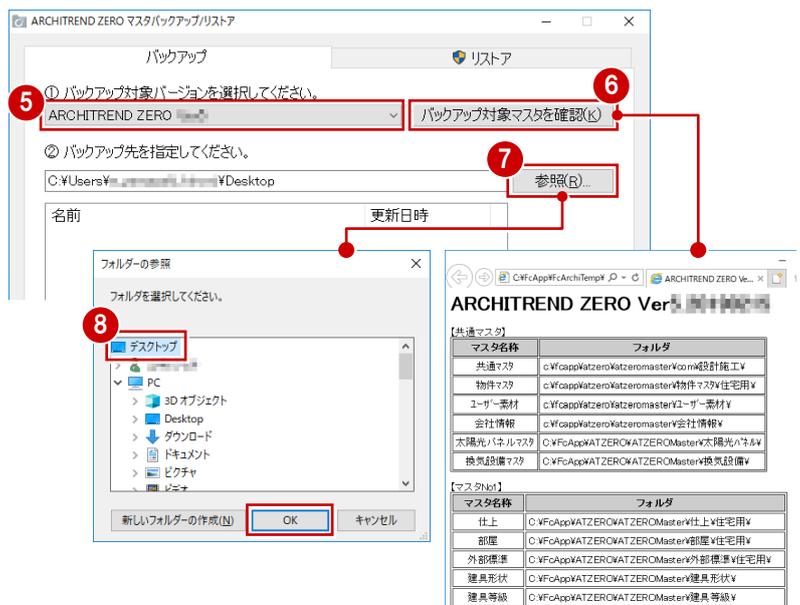
- 4 確認画面で「OK」をクリックします。



- 5 バックアップ対象のバージョンを選びます。

- 6 「バックアップ対象マスタを確認」をクリックして、対象となるマスタと参照フォルダを確認します。

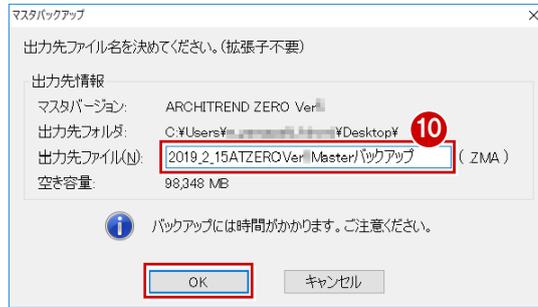
- 7, 8 「参照」をクリックして、バックアップファイルを保存する場所を指定します。
ここでは、「デスクトップ」を選んで「OK」をクリックします。



- 9 「バックアップを実行」をクリックします。



10 バックアップファイルの名前を確認して、「OK」をクリックします。
処理が始まります。



11 完了の確認画面で「OK」をクリックします。
デスクトップにバックアップファイル（.ZMA）が作成されています。

12 作成されたバックアップファイル（.ZMA）を、別の媒体（HDD、CD、DVD など）に保存します。

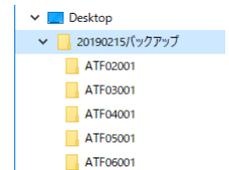


補足 個別にマスタをバックアップするには

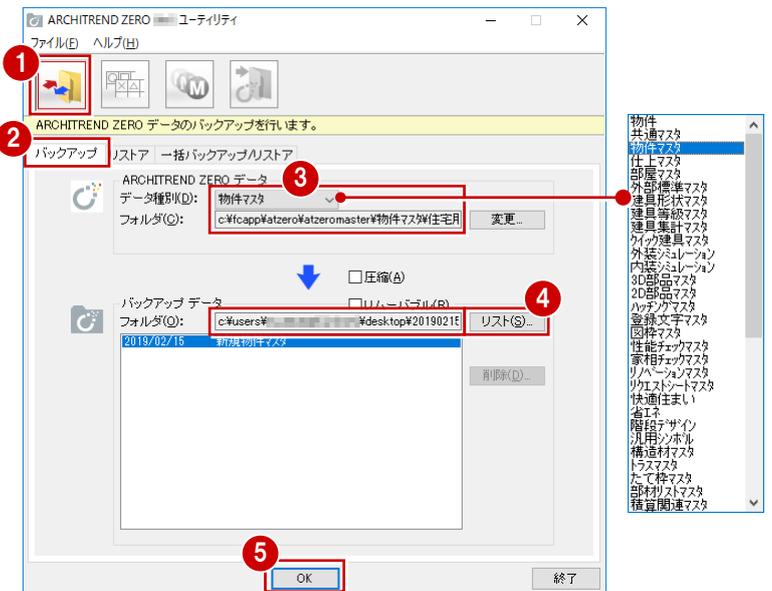
物件マスタのみをバックアップしたいというように、個別にマスタをバックアップする場合は、ユーティリティの「バックアップ」タブで行います。

この場合、指定した保存先に作成される「¥ATF????」というフォルダにバックアップデータが保存されます。エクスプローラ等でこのフォルダ名を変更すると、リストアできなくなりますのでご注意ください。

保存先のフォルダを、別の媒体（HDD、CD、DVDなど）に保存してください。



1,2 「バックアップ／リストア」の「バックアップ」タブが開いていることを確認します。

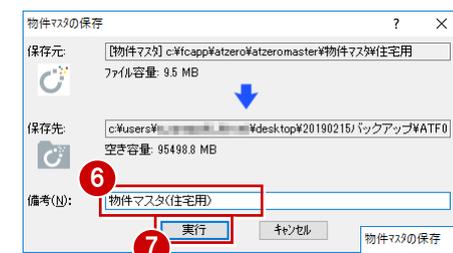


3 「データ種別」でマスタ（ここでは「物件マスタ」）を選び、参照フォルダを確認します。

4 「リスト」をクリックして、バックアップ先のフォルダを指定します。
ここでは、「デスクトップ(Desktop)」に新しいフォルダを作成し、フォルダ名をわかりやすい名称に変更しています。⇒ P.11 参照

5 「OK」をクリックします。

6 「備考」を入力します。
ここで入力した名称がリストア時に表示されるので、識別しやすいように変更しておきます。



7 「実行」をクリックすると、処理が始まります。

8 完了の確認画面で「OK」をクリックします。
続けて、他のマスタをバックアップします。

